

宇和島市教育委員会会議録

令和6年8月定例会

令和6年8月23日開催

宇和島市教育委員会

宇和島市教育委員会 令和6年8月定例会 会議録

1. 開会日時 令和6年8月23日（金） 午後1時30分
2. 場 所 宇和島市役所本庁 A棟会議室
3. 出席者 教育長） 金瀬 聡
教育委員）木下 充卓、高山 俊治、弓削 由美子、
浅井 敬司、田村 裕子
4. 欠席者 なし
5. 出席職員 教育部長 森田 孝嗣、教育総務課長 面川 啓之、
学校教育課長 中山 総大、生涯学習課長 杉浦 光信、
文化・スポーツ課長 笠松 美和、人権啓発課長 日出山 輝、
学校給食センター所長 二宮 貴紀、伊達博物館長 橋本 宏司、
教育総務課課長補佐 稲田 雄一郎、同課総務係長 島瀬 孫幸、
同課総務係主任 児玉 泰宗
6. 付議事件
議案第41号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について
議案第42号 職員の懲戒等処分について

7. 会議概要

(1) 会議成立の報告

○教育総務課長

教育長及び在任委員の全員が出席されています。定足数を満たしていますので、本会議は成立していることをご報告いたします。

それでは、ここからの進行は教育長、宜しくお願いいたします。

(2) 開会宣言・教育長報告（午後1時30分）

◎教育長

それでは、ただいまより令和6年8月定例教育委員会会議を開催します。

先日8月10日、コミュニティ・スクール推進フォーラム in 愛媛宇和島が三間町のコスモスホールで開催されました。

文科省地域学習推進課からも榎木課長補佐にお越しいただき、さらに、非常に特

徹的な活動をされている3校の校長からも、それぞれの学校での取り組みをご紹介いただきました。新たにコミュニティ・スクールを導入する学校のみならず、宇和島においては全校がコミュニティ・スクールになっています。コロナ禍にあり、活動が困難な状況で少々停滞気味になっているところもあると思いますが、活動を実質化していく上でどのような取り組みが必要になるか、非常に示唆的な発表をしていただいたと感じました。

そして後半では、全国で30名いるCSマイスターのうち、4名の方に宇和島に集まっただいて、専門的な見地から議論していただき、これから私たちが目指す、幼保小中高大学までの学校を縦に繋ぎ、そしてそれに産官学民の横串を通していく。そしてデジタルの時代ですから、遠く離れた地域であったり、宇和島になかなかいられない分野の方々とも繋ぎながら、消滅可能性都市が危惧されているこの宇和島で地域をおこしていく、それが自分の生きる意味だと思ってもらえるような次世代を育てていく。そのようなチャレンジをしていきたい、といったキックオフの場になったのではないかと思います。

様々な方からお声をいただいておりますが、非常に良かったと高く評価いただきましたので、そういった意味でも良いイベントになったのではないかと思います。そのようなことを申し上げて、早速議事に入っていきたいと思っております。

(3) 付議事件

◎教育長

それでは本日の議事に入ります。

本日の議案ですが、報告第42号については、人事案件であることから、非公開で審議したいと思っております。

賛成いただける方は挙手をお願いいたします。

◎全委員

—挙手—

◎教育長

それでは挙手全員ですので、報告第42号については非公開で審議いたします。

議案第41号について議事に入ります。

6月11日に第1回の宇和島市教科用図書選定調査委員会、8月9日には、第2回宇和島市教科用図書選定調査委員会が行われました。

今回の教育委員会会議では、教科用図書選定調査委員会で慎重に審議いただいた報告を受けて、令和7年度から、市内中学校で使用する教科書を決定するものです。

お手元に愛媛県教育委員会の選定資料と宇和島地区の研究報告書があると思いますが、確認の意味でこれまでの経緯を含めて事務局から経過報告をお願いします。

○学校教育課課長補佐

宇和島地区の教科書採択に当たっては、6月19日から7月25日まで、中学校の

教員で構成する宇和島・北宇和・南宇和地区教科用図書調査研究委員に、慎重かつ熱心に、検定教科書の調査活動を行い、報告書をまとめました。その報告書をもとに、8月9日に「第2回宇和島市教科用図書選定調査委員会（以後：採択委員会）」を開催し、推薦教科書を決定しました。

本日はそれらについて報告しますので、採択の審議をいただけたらと思います。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは、採決に移ります。

教科毎に採決を進めますので、事務局、まず『国語科』から説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は光村図書です。採択委員会は、今回も光村図書を推薦しています。

研究報告書では、光村図書は、説明的文章、文学的文章、古典、漢字学習を中心とする言語事項等、いずれの分野においても、中学生に分かりやすく、目的・目標いずれもしっかりと設定されたものになっており、6つの項目できわめて高い評価でした。

生徒の発達段階や能力にきわめて適しているだけでなく、これからの時代を意識した教材が組み立てられており、未来を担う子どもたちにとって、生きる上での大切な活用力に関する内容（人権教育・キャリア教育・防災・SDGsなど）も意識されているという評価でした。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎木下委員

光村図書については、目次、学習の見通しが大変見やすく、話す・聞く・書く・読むの教材、作品や作者がどのページに配置してあるか探しやすいです。古典から現代の小説作家までバランスよく選んでいて、中学生の興味を引く作家が並んでいたと思います。

例えば、1年生ですと瀬尾まいこ氏。2年生ですと椎名誠氏、伊坂幸太郎氏。3年生ですと井上ひさし氏、森絵都氏等。また、俳句ではテレビでもおなじみの神野紗希氏の俳句教室があり、愛媛県人として親しみを持ちながら学べると思います。

また、2年生の最後の晚餐の評論解説は、美術作品への魅力がさらに深まるような内容となっていました。美術の教科書とも連動する内容が良かったと思います。

東京書籍についても、現在の作家、小川洋子氏や、あさのあつこ氏等、中学生に人気のある作家がいましたが、少し光村図書より少なかったかと思います。

教育出版については、3年生の「俳句の世界」に、夏井いつき氏の書き下ろしの

解説と、テレビでおなじみの赤ペン俳句教室で楽しく俳句を学べる内容になっていて目を引きました。

全体的には光村図書が良いと感じました。

◎教育長

他ございますか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

特にないようでしたら、採決に移ります。

『国語科』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『光村図書』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎全委員

－挙手－

◎教育長

挙手全員のため、『国語科は光村図書』に決定します。

◎教育長

続いて、『書写』について、事務局、説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は東京書籍です。採択委員会は、今回は光村図書を推薦しています。調査員の報告では、全ての評価項目において、光村図書が他の教科書よりも高い評価、あるいは同等となっています。さらに、「活用の力を高めるための効果的な学習指導への配慮がきわめてなされている。」という点において、他の教科書とは差があるといった評価となっています。現状の東京書籍も高い評価ですが、やや差があるとの評価となっています。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎田村委員

国語科の教科書と同じ光村図書ですが、その観点で見ってみました。そうすると国語の教科書と連動していて、古文や詩、短歌等が設定してある。そのような点で全て優れていると感じました。

◎教育長

他ございますか。

◎中島委員

光村図書のシンプルな解説がわかりやすい表現だと思いました。

また「確かめよう」が動画を観ているようで、教える方も教わる方も使いやすく感じました。最後にある「日常に役立つ書式」でも、私たちになじみのある日常に

寄り添っている内容で良いと感じました。

◎教育長

他ございますか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

特にないようでしたら、採決に移ります。

『書写』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『光村図書』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎全委員

－挙手－

◎教育長

挙手全員のため、『書写は光村図書』に決定します。

◎教育長

続いて、『社会科（地理分野）』について、事務局、説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は東京書籍です。採択委員会は、今回も東京書籍を推薦しています。

研究報告書では、学習指導要領の示す目標及び改訂の趣旨に照らし、精選及び重点化がきわめて適切であること、基礎的・基本的な事項の習得に留意し、生徒の発達段階や能力に応じて学習できるよう構成されていることなど、多くの項目で他の教科書より高い評価となっています。

◎教育長

ご質問等ございましたら、お願いいたします。

◎木下委員

4社とも本のサイズが同一で、非常に見やすい教科書となっていました。写真・イラスト・地図などの配置、バランス等が東京書籍が良かったと思います。ただ、愛媛県、特に南予地方の産業について、ほか3社は八幡浜のみかん畑や南予の鰯の養殖を写真と文章で取り上げていました。残念ながら東京書籍にはありませんでしたので、南予に住む者としては寂しいところではありましたが、全体のバランスでは東京書籍が良いと感じています。

◎教育長

他ございますか。

◎高山委員

東京書籍が良いと私も思いました。加えて、東京書籍は地図に宇和島が載っていました。細かいことですが、帝国書院にはその部分がありませんでした。

◎教育長

他ございますか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは採決に移ります。

『社会科（地理分野）』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『東京書籍』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎全委員

－挙手－

◎教育長

挙手全員のため、『社会科（地理分野）は東京書籍』に決定します。

◎教育長

続いて、『社会科（歴史分野）』について、事務局、説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は東京書籍です。採択委員会は、今回も東京書籍を推薦しています。

研究報告書では、学習指導要領の示す目標及び改訂の趣旨に照らし、精選及び重点化がきわめて適切であり、基礎的・基本的な事項の習得に留意し、生徒の発達段階や能力にきわめて適しているとの評価です。また、各単元に二次元コードを配置し、生徒がタブレット端末を活用して効果的に学習を進めるための配慮があるだけでなく、歴史的な流れを読み取りやすく、各紙面のデータや写真など、中学生にとって扱いやすい構成となっており、他の教科書より高い評価を得ています。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎浅井委員

どの教科書も、資料等ふんだんに使って良いと思いましたが、色の扱いが多少派手になっていて、肝心の本文が目に入らなくなってしまうところがありました。東京書籍は、本文と資料掲載部分の色の区別を明確にして大変見やすくなっていたので良いと思いました。

◎教育長

他ございますか。

◎中島委員

私も全く同じ印象を感じました。

レイアウトに統一感があって、中央にしっかりした文章、両サイドに挿絵や説明の図等が配置されて、関連している部分と文章がしっかり結びついて見やすい印象を受けました。

◎教育長

他ございますか。

◎木下委員

私も本文とのバランスで、東京書籍が非常に読みやすくて良かったと感じましたが、巻末の年表が、日本文教出版と教育出版には2020年の新型コロナの流行と2022年のロシアによるウクライナ侵攻まで記述がありましたが、東京書籍にはありませんでした。できれば記述がほしかったですが、全体的には、歴史を振り返って子どもたちがどう考えるか、非常に内容の濃い教科書ではないかと感じています。

質問ですが、子どもたちに配布するまでに、年表に追加記述はありますか。

○学校教育課長補佐

変わらないと認識しています。

◎教育長

今のご指摘も含めて、他ございますか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは採決に移ります。

『社会科（歴史分野）』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『東京書籍』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎全委員

－挙手－

◎教育長

挙手全員のため、『社会科（歴史分野）は東京書籍』に決定します。

◎教育長

続いて、『社会科（公民分野）』について、事務局、説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は日本文教出版です。採択委員会は、今回も日本文教出版を推薦しています。

研究報告書では、生徒の生活経験や興味が考慮され、主体的・対話的で深い学びができるよう配慮がきわめてなされており、教材の配列が系統的・発展的に構成され、各内容の分量がきわめて適切であるとの評価になっています。また、各章に「チャレンジ公民」のページを設け、学習した知識を活用し、社会的な課題の解決について考察、構想する問題解決的な学習を位置付けるなど、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようとする態度が養われるよう配慮されており、他の教科書より高い評価となっています。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎浅井委員

私も日本文教出版が良いと思いました。理由として、「単元を貫く問い」がどのペ

ージにも下に書いてあり、それぞれの章のまとめ、ふりかえりにつながっているのではないかと思い、良い点だと感じました。

◎教育長

他ございますか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは採決に移ります。

『社会科（公民分野）』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『日本文教出版』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎全委員

－挙手－

◎教育長

挙手全員のため、『社会科（公民分野）は日本文教出版』に決定します。

◎教育長

続いて、『社会科（地図）』について、事務局、説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は帝国書院です。採択委員会は、今回も帝国書院を推薦しています。

研究報告書では、学習指導要領の示す目標及び改訂の趣旨に照らし、精選及び重点化がきわめて適切であり、基礎的・基本的な事項の習得に留意し、生徒の発達段階や能力にきわめて適応しているという点を含め、7つの項目できわめて高い評価となっています。

巻頭に地図帳の使い方のページがあり、我が国や世界の国々の地理的環境等について理解し、情報を効果的にまとめる技能が身に付くよう配慮されている点で帝国書院が高く評価されています。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎木下委員

2社を比較したときに、東京書籍は、地名を詰め込みすぎて本来の地図の形が見づらいと感じました。やはり地図帳ですので、様々な地名を詰め込みたいのはわかりますが、国内の地図を見比べると文字が邪魔をしているところがわかりますので、もう少し配慮があってもいいかと思いました。

ただ、東京書籍の巻末の日本列島の地図は、海の深さ、大陸棚の深さまでよくわかる地図で、特に尖閣諸島周辺の海の様子などわかりやすかったです。

トータルでは帝国書院が少し上回ると感じています。

◎教育長

他ございますか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは採決に移ります。

『社会科（地図）』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『帝国書院』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎全委員

－挙手－

◎教育長

挙手全員のため、『社会科（地図）は帝国書院』に決定します。

◎教育長

続いて、『数学科』について、事務局、説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は啓林館です。採択委員会は、今回も啓林館を推薦しています。

研究報告書では、教材が適切に配列され、各内容の分量がきわめて適切であり、既習事項を確認する「ひろげよう」や「ふりかえり」、対話的活動をねらった「説明しよう」のコーナーを随所に設けるなど、系統的・発展的に構成されています。重要な所が視覚的に分かるよう色使いが工夫されていて、文章・さし絵・写真・統計グラフ・図表等が見やすいなど、総合的に評価し、きわめて適切であり、他の教科書よりも多くの項目で高い評価となっています。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは採決に移ります。

『数学科』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『啓林館』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎全委員

－挙手－

◎教育長

挙手全員のため、『数学科は啓林館』に決定します。

◎教育長

続いて、『理科』について、事務局、説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は学校図書です。採択委員会は、今回は東京書籍を推薦しています。

研究報告書では、章末の「確かめ問題」について、どの問題でつまずいたか履歴を確認することができるようになっていたり、スタート動画等による問題提起から見通しの立てやすい探究活動の構成になっており、「主体的・対話的で深い学び」の実現ができる工夫が随所に見られる点などが評価されています。

また、学習したことを定着させたり、学びを広げたり、深めたりする二次元コードコンテンツが充実しており、写真やイラストも大きく、また各節の構成が探究の過程に沿ったものとなっており、指導者の指導経験を問わず使いやすくなっているなどの理由で、東京書籍の評価が高くなっています。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎中島委員

東京書籍の教科書の構成が、問いのあと説明があり、理解したところでまた最初の問いに戻って考えようといった仕組みとなっており、各学習が次にどんどん繋がっているのが、学びの中で理解しやすいという印象を受けました。

また、単元の整理や確かめ問題が見開きになっている、そして解説ページにも戻りやすいところが復習しやすいと感じました。実験の説明のところも、1ページで簡潔に流れが全部見えるのが良かったです。

啓林館も同じような印象を受けましたが、問いのふりかえりの部分は東京書籍の方が良かったと思いました。「社会につながる科学」が東京書籍にあり、実生活と学習した部分の関わりがしっかり紹介されて、勉強への興味や意味、科学の身近さを感じられると思いました。

学校図書は、実験の流れがすごく丁寧に解説されていました。どこが危ないか、そういった部分も一緒に書かれていましたが、数ページにわたって繰り返されていくので、流れを汲み取りにくい印象を受けました。

◎教育長

他ございますか。

◎木下委員

東京書籍、啓林館が探求をテーマに身の回りの疑問を筋道をたどって明らかにする、その過程を通じた学習活動で、東京書籍の教科書の使い方が、最初に提示してあり、先生にも生徒にも使いやすいのではと感じました。

また、3年生の終章では、「持続可能な社会のために」ということで、地球環境、科学技術がどのようにつながっていくのかと、探求のテーマがそこに示されているつくりになっていたと思います。「社会につながる科学」のインタビューも非常に感動しました。

一方で啓林館の教科書も甲乙付け難く、私はどちらかというと啓林館が良いと思いましたが、分量的に他社より量が多い気はしました。ただ、写真・挿絵は綺麗に

配列され、鮮明で見やすい配置になっていたと感じました。特に実験等を行う際の安全面によく配慮されていて、注意すべき点にもマークや説明がありました。特に報道でも、授業中の実験事故等ありますし、そういった点については、先生の経験不足を補う上でも啓林館が良かったのではと思っています。

どちらの教科書も持続可能な社会を目指し、科学で子どもたちがどのようなことができるかと学ぶ、非常に良い教材となっていると思いました。

◎教育長

他ございますか。

◎田村委員

東京書籍について、学習内容の整理がよくされていて良いと感じました。

子どもたちは定期テストや試験前に教科書よりもワークの方が覚え込むのに時間がかかるとは思いますが、東京書籍は大切な要項が一覧表になっていて、ワークと教科書両方活用できる面でも良いと感じました。

◎教育長

他ございますか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは採決に移ります。

『理科』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『東京書籍』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎委員

－挙手多数－

◎教育長

賛成多数のため、『理科は東京書籍』に決定します。

◎教育長

続いて、『音楽科（一般）』について、事務局、説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は教育出版です。採択委員会は、今回は教育芸術社を推薦しています。

研究報告書によると、生徒の発達段階や能力に適応し、基礎的・基本的な事項の習得にきわめて留意している点、生徒の生活経験や興味が考慮され、主体的・対話的で深い学びができるように配慮がきわめてなされている点など、8つの項目すべてで高い評価となっています。また、一年間で学習する教材と音楽を形づくっている要素をまとめたページを設けるなど、教材の配列がきわめて系統的・発展的に構成されて適切であることなどの理由で、教育芸術社の評価が高くなっています。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎浅井委員

個人的には2社ともほとんど差がないと感じました。教育芸術社は「学びのコンパス」やワークシート等教科書を使って生徒が学習しやすいように特に工夫されていると感じました。

また、教育出版は学習マップが充実し、学習の見通しが明確で、先生と生徒がともにその目標に向かって学習できるように工夫されていると感じました。

それでは2社はどこが違うのかということですが、教育出版は、経験豊富な先生が使うときに大変扱いやすい教科書ではないかと感じました。

逆に教育芸術社は、経験の浅い先生、子どもが主体となって学習しやすいように工夫されています。特に最近はや若い講師や、しばらく教職を離れて、また講師で復職される先生も増えていきますので、そのような観点で、扱いやすい教科書だと思いますので、採択委員会も教育芸術社を採択したのではないかと感じています。

◎教育長

他ございますか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは採決に移ります。

『音楽科（一般）』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『教育芸術社』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎全委員

－挙手－

◎教育長

挙手全員のため、『音楽科（一般）は教育芸術社』に決定します。

◎教育長

続いて、『音楽科（器楽）』について、事務局、説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は教育出版です。採択委員会は、今回は教育芸術社を推薦しています。

研究報告書では、生徒の発達段階や能力に適応し、基礎的・基本的な事項の習得にきわめて留意しており、適切な内容が精選され、重点化がきわめて図られているとの評価となっています。学習の導入として各楽器の鑑賞教材やそれぞれの楽器の演奏の様子や演奏形態等を紹介した写真を複数取り上げるなど、系統的・発展的に構成されていることや、リコーダー教材では「Q&A」、「練習のポイント」、「伴奏の二次元コード」など生徒が主体的に学習し、創意工夫を生かした音楽表現に必要な技能が身に付くよう配慮されているなどの理由で、教育芸術社の評価が高くなっています。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎浅井委員

個人的にはほとんど差がないと感じています。ただ、一般が教育芸術社なので、器楽も同じ教育芸術社の方が使いやすいと思ったことと、楽譜・音符が教育芸術社の方が見やすいと感じました。

◎教育長

他ございますか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは採決に移ります。

『音楽科（器楽）』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『教育芸術社』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎全委員

－挙手－

◎教育長

挙手全員のため、『音楽科（器楽）は教育芸術社』に決定します。

◎教育長

続いて、『美術』について、事務局、説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は日本文教出版です。採択委員会は、今回も日本文教出版を推薦しています。学習指導要領の示す目標及び改訂の趣旨に照らし、精選及び重点化がきわめて適切であり、生徒の発達段階に対応していることや、第1学年の巻頭に、小学校と中学校をつなぎ、中学校3年間の学びを見通すページを設けるなど、系統的・発展的に構成されていることなどが高く評価されています。また、生徒の発想・構想をサポートする手立てとして、折って立てられる屏風のしかけなど多様な美術作品を数多く掲載しているなどの理由により、日本文教出版の評価が高くなっています。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎木下委員

推薦理由にあるとおり、紙質、装丁、印刷が群を抜いて日本文教出版が良かったのではと思います。大人もついつい楽しく見入ってしまうような教科書でした。例えば、発見当時話題となったフェルメールの復元作業で現れた絵の作品や、また、地元愛媛では蜷川実花さんの道後温泉アートの飛鳥の湯作品等が写真で掲載されていたり、興味を引く掲載が多かったように感じます。

一方光村図書は、2・3年生の教科書では日本画を和紙で印刷してあり、目だけでなく、手で触れた感覚も楽しめる工夫がされていたと思います。また、現在の作品、草間彌生さんの直島のかぼちゃ作品や、バンクシーの作品等、こちらも生徒たちの興味を引くような掲載がされていると思います。別冊資料の日本と世界の伝統・色図鑑は他社よりも様々な表現、特に海外と日本の色の表現の区別が多くしており、色の表現の豊かさを感じられるように工夫されていると思いました。

開隆堂については、表紙に凹凸があり、感触も楽しめるような工夫がされていると思いました。同じように蜷川実花さんの作品も掲載されていました。

トータルで見るとやはり紙質等、本当に使ってもらいたいと思った教科書は、日本文教出版だったと感じています。

◎教育長

他ございますか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは採決に移ります。

『美術』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『日本文教出版』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎全委員

－挙手－

◎教育長

挙手全員のため、『美術は日本文教出版』に決定します。

◎教育長

続いて、『保健体育科』について、事務局、説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は東京書籍です。採択委員会は、今回も東京書籍を推薦しています。

学年ごとの学習内容では、教材の配列が系統的・発展的に構成され、各内容が分かりやすく簡潔にまとめられており、1時間の学習の流れが「見つける」→「課題の解決」→「広げる」と明確になっている点や、学習に関連した事例などを用いたディスカッションや課題について解決方法を考えるブレインストーミング、役割演技によるロールプレイなど、主体的・対話的で深い学びができるように、動画やシミュレーション、他教科とのリンクなど、様々なコンテンツが用意されているなどの理由で、東京書籍の評価が高くなっています。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎浅井委員

私も東京書籍が全体的にバランスが良いと思いました。

良い点として、1点目は文字と写真・イラストのバランスが大変良くて見やすいと思いました。2点目は中に示されている学習課題が簡潔でわかりやすく記述されていました。3点目は巻末のスキルブックが大変工夫されていて、生徒の興味関心を高めるようにしているのも良いと思いました。

◎教育長

他ございますか。

◎木下委員

大修館と学研は、本文や資料でパンデミック、新型コロナの症状や感染経路について触れてありました。

東京書籍は本当にバランスが良かったですが、感染症の項目で新型コロナについて本文で触れられていないのが残念でした。

大日本図書も感染症の欄では、触れていなかったと思います。細かい部分ですし、教科書を作る時期の問題もあったと思いますが、2019年の出来事で、感染症についてですので、なんとか間に合わせていただきたかったと感じています。

◎教育長

他ございますか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは採決に移ります。

『保健体育科』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『東京書籍』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎全委員

－挙手－

◎教育長

挙手全員のため、『保健体育科は東京書籍』に決定します。

◎教育長

続いて、『技術・家庭科（技術分野）』について、事務局、説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は開隆堂です。採択委員会は、今回は東京書籍を推薦しています。

研究報告書では、学習指導要領に示されている目標及び改訂の趣旨に照らし、精選及び重点化がきわめて適切であり、生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し、解決する力が養われるよう考慮され、主体的・対話的で深い学びができるよう配慮がきわめてなされているとの評価となっています。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎高山委員

東京書籍の方が写真や図と文章の関係がわかりやすく書かれていたと思います。
開隆堂も内容的に良く、チェック項目等、私は良かったと思います。
全体的に見ると、やはり東京書籍が良いと思いました。

◎教育長

他ございますか。

◎木下委員

東京書籍と開隆堂。どちらも甲乙付け難いと思いました。本のサイズも同じで、特に両社とも、最初にガイダンスで技術分野の学習見通しを立てる点や、構成としても大きな差はありません。

また、どちらもそれぞれ日本で活躍する匠を紹介している点は良かったと思います。特に開隆堂は、今治の造船技術、難しい曲がったはんだ付け、溶接等の技術の人の紹介をされていて、地元愛媛の造船技術の高さを紹介していました。

どちらも未来を作るテクノロジーをテーマにした技術分野で、持続可能な未来のためにどのようなことができるかと、今の中学生が技術により問題を解決する方法を学んでほしいという教科書会社の熱い思いが伝わってくるような内容でした。

バランス的に見やすかったのは、東京書籍の方で、使いやすそうだったと思います。本当に甲乙付け難い思いが伝わる技術の教科書でした。

◎教育長

他ございますか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは採決に移ります。

『技術・家庭科（技術分野）』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『東京書籍』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎全委員

－挙手－

◎教育長

挙手全員のため、『技術・家庭科（技術分野）は東京書籍』に決定します。

◎教育長

続いて、『技術・家庭科（家庭分野）』について、事務局、説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は東京書籍です。採択委員会は、今回も東京書籍を推薦しています。

研究報告書では、各編の最初に家庭分野の見方・考え方を分かりやすく示し、実

践に向かう学習過程が重視されており、教科書の流れに沿ってすすめることで、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力の育成につながる流れになっています。さらに、生徒の生活経験や興味が考慮され、主体的・対話的で深い学びができるようきわめて配慮がなされており、文章表現が簡潔で、免外の教科担任が多い本教科の教師も使いやすいなどの理由で、東京書籍の評価が高くなっています。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎木下委員

東京書籍、開隆堂、どちらの教科書も甲乙付け難い内容であったと思います。どちらも自立と共生、自立と支えあいというテーマで教科書が作られていて、東京書籍は本当にバランスが良く、開隆堂は調理用具等に関して、安全面に考慮した使い方を示されています。小学生から包丁は使っていると思いますが、家庭科で使う際も、安全面を非常に重視して作られていると感じました。

防災の学習についても、開隆堂は10ページにわたり写真・イラストで充実した内容で防災の教材として力を入れていると感じました。東京書籍が防災の学習で4ページと巻末2ページありました。内容的には同じでしたが、やはり詳細にハザードマップの掲載写真もありましたし、そちらの点では開隆堂の方が丁寧で、防災の学習教材としては良かったのではと思います。

家庭科は今、男女ともに学びますが、衣食住で子どもたちが自立できることを学ぶだけでなく、消費生活と環境問題、さらには、幼児の家庭、生活等詳しく記載されていて、私たちの世代の頃の家庭科の教科書とは違い、現代の状況に合わせた教科書となっています。社会に出ても、この教科書で充分大人として生活できる教科書になっていると感じました。

本当に東京書籍、開隆堂甲乙付け難いです。ただ、家庭科の先生も不足していて、先生方が使いやすい教科書で東京書籍を推薦していると感じています。

◎教育長

他ございますか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは採決に移ります。

『技術・家庭科（家庭分野）』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『東京書籍』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎委員

－挙手多数－

◎教育長

賛成多数のため、『技術・家庭科（家庭分野）は東京書籍』に決定します。

◎教育長

続いて、『英語科』について、事務局、説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は東京書籍です。採択委員会は、今回は教育出版を推薦しています。

研究報告書では本文の内容についての理解を踏まえ、生徒が本文の表現を活用してやり取りの練習を行う「Think & Try」のコーナーを設けるなど、活用の力を高めるための効果的な学習指導への配慮がなされています。また、生徒の生活経験や興味が考慮され、主体的・対話的で深い学びができるよう配慮がきわめてなされているということで、教育出版の評価が高くなっています。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎田村委員

私も教育出版が良いと感じました。

これまでは東京書籍を使い、今回教育出版が推薦に上がっていたため、今回と以前の教科書を比較し、私なりに見てみました。

推薦書にも書かれていますが、本文の内容を理解したうえで、聞き取り、考えて発表をするといった流れで、先生や生徒との間で会話を演じる流れになっていて良かったと思いました。学習した内容を、アクティブラーニングで使えるようになっており、さらにグラマーの部分で学んだ文法の解説があり、英語の仕組みが理解できると感じましたので、何を学んで、それをどのように使うのか明確であると思い、推薦書のとおりだと感じました。

◎教育長

他ございますか。

◎浅井委員

私は教育出版と開隆堂も、工夫されていると感じました。

2社ともに、小学校英語の学びを活かすことに力を入れていて、中学校英語への入り口を優しくしていると感じました。そして教育出版は、プラスして学びの定着に向けて大変工夫されていると感じました。

◎教育長

他ございますか。

◎中島委員

英語は中学校に入ってつまり教科の一つでもあると思います。

まず、教育出版と東京書籍、それぞれの教科書を見比べたときの印象が、東京書籍は私が中学生時代に学んでいた教科書に似ている、昔ながらの感じがしました。楽しく学ぶというより、しっかり学ぶことに重きを置くような、少し難しそうなイメージを受けました。

教育出版は、逆に一見すると、ラジオ英会話のテキストのような、興味深い内容のコンテンツが多い。そのコンテンツの中に出てきた英語の中から文法を学んでいくといくような、文法を教えるための長文や会話ではなく、出てきたコンテンツの中で大事な部分をしっかりと説明しているので、とても入りやすい、苦手意識を持ちにくい工夫がされていると感じました。

◎教育長

他ございますか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは採決に移ります。

『英語科』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『教育出版』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎全委員

－挙手－

◎教育長

挙手全員のため、『英語科は教育出版』に決定します。

◎教育長

続いて、『道徳科』について、事務局、説明をお願いします。

○学校教育課課長補佐

現行は日本文教出版です。採択委員会は、今回も日本文教出版を推薦しています。研究報告書では、生徒の発達段階や能力に適応し、道徳的価値を理解することができるように、系統的、発展的な構成となっています。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現ができるよう、全学年に「学びを深めよう」のページが付属されており、シンキングツールを活用した話し合い活動や、役割演技などが挙げられており、道徳的な問題について考えたり、体験しながら学習したりすることで、深い学びのための配慮や工夫がきわめてなされているなどの理由で、全ての項目で日本文教出版の評価が高くなっています。

◎教育長

ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎木下委員

日本文教出版ですが、別冊の道徳ノートに自由にメモできる点が良かったと思います。また、生き方を実践につなげることに、極めて留意していると感じました。

東京書籍は、教科書自体に思ったことを自由に書き込める「つぶやき欄」が手軽にそのまま思ったことをメモしやすいと思いました。

推薦の内容にあったように、「主体的・対話的で深い学び」の実現ができるよう配

慮されていると思いました。

全体での評価、バランスは低かったですが、教育出版の1年生の教科書の中で、「僕の応援歌」で、動物画で知られる新居浜市の石村嘉成さんが紹介されていました。発達障がいを持ち、療育を受けながら成長される姿、お母さんとの家族愛。そしてお母さんを亡くされた後のお父さんとの、今の画家として自立するまでの家族愛も描写されていて、同じ愛媛県人として、絵の作品だけでなく、生い立ちも中学生に知ってもらおうと、より石村さんの動物の生き生きした絵が感じられるのではないかと思います。

全体的に、日本文教出版がバランスよくできていたと思います。

◎教育長

他ございますか。

◎田村委員

どの教科書においてもバランスもとれていましたし、どこが良い悪いとは特にありませんが、以前、宇和島市の道徳教育の研究大会を拝見したことがあります。先生方も本当に熱心に研究をされていて、感銘を受けたのを覚えています。その後の熟議においても、様々な角度からご意見をいただき、本当に深めることができた研究大会でした。そのような中で、多くの先生方が日本文教出版を推薦していますので、引き続き、児童の実態等に合わせてさらなる研究をしていただき、宇和島市の子どもたちのために使っていただきたいと感じました。

◎教育長

他ございますか。

◎中島委員

授業参観でも道徳の授業を拝見したことがあります。この別冊ノートのプラスワんに書かれたようなこと、班で話し合ったこと等、決まった答えではなく、それぞれの意見を出し合い、自分に落とし込んで気づきにつながるといった部分では、この別冊ノートがあって、書くスペースもしっかりあるというのはとても効果的だと感じました。

◎教育長

他ございますか。

◎全委員

－特に質問、意見等なし－

◎教育長

それでは採決に移ります。

『道徳科』について、教科用図書選定調査委員会からの推薦と皆様からのご意見を踏まえた上で、『日本文教出版』に決定することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

◎全委員

—挙手—

◎教育長

挙手全員のため、『道徳科は日本文教出版』に決定します。

◎教育長

以上で、『議案第 41 号 令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択』が全教科終了しました。

ここで、確認のため、採択された教科用図書の出版社名について、事務局より読み上げをお願いします。

○学校教育課課長補佐

国語科は光村図書、書写は光村図書、社会科（地理）は東京書籍、社会科（歴史）は東京書籍、社会科（公民）は日本文教出版、社会科（地図）は帝国書院、数学科は啓林館、理科は東京書籍、音楽科（一般）は教育芸術社、音楽科（器楽）は教育芸術社、美術科は日本文教出版、保健体育科は東京書籍、技術・家庭科（技術分野）は東京書籍、技術・家庭科（家庭分野）は東京書籍、英語科は教育出版、道徳科は日本文教出版、以上が採択されました。

◎教育長

今読み上げがありましたとおり、令和 7 年度使用宇和島市中学校教科用図書の採択の審議を終了いたします。事務局から今後の流れについて説明をお願いします。

○学校教育課長補佐

本日の採択結果につきましては、速やかに愛媛県教育委員会に報告させていただきます。なお、県教委によりますと、県から結果について公表する予定はないとのことでした。

宇和島市では、本日の採択結果及び採択理由、教科用図書選定調査委員会の議事録について、9月1日以降に学校教育課窓口にて公開予定としています。

◎教育長

それでは、ここで、一時休憩を取ります。

15時5分より再開しますので、それまでにお集まりください。

（休憩）

○教育総務課長

皆様お集まりですので、ただ今より8月定例教育委員会会議を再開いたします。教育長、議事進行をよろしく願いいたします。

◎教育長

それでは、議事に入ります。

本日の非公開議案は懲戒案件であり、出席する事務局職員も限定して審議を行う必要があることから、その他まで含めた会議の全日程を終了した後に、審議を行い

ます。

(4) その他

◎教育長

続いて、その他を行います。ご意見等ありませんか。

○教育総務課長

それでは、8月7日（水）に下波公民館で開催した結出小学校、統合に関する住民説明会の概要をご報告します。

住民説明会は、午後6時30分から9時前まで、回覧でお集まりいただいた住民の方16名、事務局の参加者8名で実施しました。

市教委の説明としては、まずはじめに説明会開催が遅くなったことについてのお詫びと、基本方針の概要を説明し、関連する蔣淵小学校の令和7年4月の統合が流動的となっているという情報提供を行いました。また、先立って実施した保護者説明会で、令和7年4月統合に対して保護者の理解を得たことなど、議論に必要な周辺状況を説明した上、統合した場合の状況、新たな統合の基本方針の内容を説明し、統合に伴う、地区住民の「不安に思っていること」などを伺いたいと呼びかけスタートしました。

主な質疑は、①閉校事業、②統合先、③統合の進め方とその時期に関する質問でした。「進め方と時期」、「統合先」に関して、ご納得いかない方も数名おられ、時間経過と共に、同趣旨の質疑の繰返す方がいらっしゃいました。例えば、統合対象校である三浦小学校への統合が望ましいとの意見を繰返し述べられる方がいるなど、2時間を超える状況となりましたので、再度の説明会開催を提案しましたところ、「内容を変えた説明でなければ、実施する意味がない」、「それでは、何回やっても同じである」旨の発言を受けましたが、別の方から「進めないと、(令和7年4月統合に)間に合わない。」と、参集者の方々へ訴えられる発言がありました。

会のまとめ方を苦慮しましたが、参集された方々も、「統合」自体はご納得いただいていること、保護者の方のご理解は得ていることから、ご理解いただけない反対の方も一部あったことも明示したうえ、「令和7年4月の遊子小学校への統合」に関し、『概ねの合意』をいただいたとしてよろしいか。と投げかけ、結果、反対の意思はない状況でありましたので、本日ご報告した上で、教育委員会として、遊子小学校への統合を進めて行くことを確定したいと考えています。

なお、本日の定例教育委員会会議終了後、結出地区へ令和7年4月の統合に関し回覧でお知らせすることとし、各種業務を学校等関係者等と急ぎ進めいきたいと考えています。

○教育部長

説明会の質疑応答の中で上がったご意見としては、「時期が急である」ということ、これについては、冒頭教育長がお詫びし、質疑応答の中でも何度もお詫びしていま

す。また、「最後の運動会を盛大にしてあげたかった」というご意見もあり、宇和海中学校が統合した際に記念誌編集に関わっていた方からは、時間がかかったという経験から「間に合うのか」というご心配のご意見もありました。以前は過去の卒業生の氏名や集合写真を掲載しており、相当な頁数に及んでいます。しかし、昨今の情勢から、個人情報やプライバシーへ配慮し、吉田地区においても名簿の削除や掲載する写真を検討した結果、頁数がかなり減っていますので、結出小学校においてもスケジュール的には間に合うものと考えており、その旨説明しています。

統合先については、結出地区から市内へ向かって通学すると考えると、三浦小学校が候補になるようで、「三浦小学校ではだめなのか」というご意見でした。三浦小学校が令和12年度には児童数2名となる見込みであるため、番城小学校への統合をお示ししていることを説明しました。また、遊子小学校を存続させた理由は、蔣淵地区への配慮であり、同地区の児童を市内の学校に通学させることは非常に大きな負担となることから、遊子小学校以外との統合は困難と考えていることを説明しました。そうしましたところ、一部の方から「遊子小学校を存続させた理由の合点がいった。むしろ、宇和海地区に学校を残してもらおうということはありがたいことじゃないか」というご意見もありました。

また、「高齢者の介護を行うことを考えると、学校の選択肢が狭まることは保護者にも大きく影響する」といった地域性に着目したご意見もあり、時間を要しました。

会議録について改めてお目通しください。

○教育総務課長

今後も適宜進捗をご報告します。

◎中島委員

未就学児を含めて保護者の意向として、三浦小学校への統合を希望するご意見はありましたか。

○教育部長

そのようなご意見はありませんでした。教育委員会の策定した基本方針として、「結出小学校と蔣淵小学校は遊子小学校へ統合」という考えをお示しして、「保護者の率直なお気持ち（ご意見）を伺いたい」という問いかけをしています。「決定事項」として限定的なご説明している訳ではありませんが、その中で保護者から「三浦小学校がいい」というご意見はありませんでした。

◎教育長

補足しますと、ある保護者から、遊子小学校と普段から交流があるため、「子どもが早く遊子小学校に行きたいと言っている」とのご意見がありましたが、三浦小学校というお話はありませんでした。

そのほか、ご質問等ありましたら、お願いいたします。

◎浅井委員

規模の小さい学校には配置されている教員も少ないため、今の時期から統合に向

けた準備を進めることになると、かなり負担は大きいものと思われます。事務局職員も多くの業務を抱えているとは思いますが、できるだけ支援してもらいたいと思います。

◎教育長

そのほか、何かありましたら、お願いいたします。

◎木下委員

吉田地区の統合について、報告します。現在、各校において閉校記念行事を行っています。喜佐方小学校においては、8月15日の午前中に校舎の開放を行いました。お盆に帰省されている卒業生などに向けたもので、学校長によると、40数名の方が校舎を懐かしみながら、見られたそうです。それぞれの学校で工夫しながら閉校記念行事を行っています。

◎教育長

ご意見ないようですので、次回定例会の日程を調整します。

9月27日で皆さん都合はいかがでしょうか。

◎全委員

異議なし

◎教育長

それでは、来月の定例会は9月27日（金）に開催します。

◎教育長

それでは、ここからは、非公開とする懲戒案件の審議を行いますので、出席対象でない事務局職員は退席をお願いします。

◎教育長

議案第42号を上程する。

<議案第42号>

職員の懲戒等処分について

◎教育長

説明を求める。

○教育総務課長

職員の懲戒等処分に関する原案を説明する。

◎木下委員

処分対象者の当時の状況について問う。

○教育部長

処分対象者の対応状況について説明する。

◎中島委員

処分対象者のとった行動の意図について問う。

○教育部長

処分対象者のとった行動の不備及び処分を判断した経緯を説明する。

◎田村委員

職員の配置状況について問う。

○教育総務課長

職員の配置状況について説明する。

◎高山委員

処分対象者のとった行動の不備について意見を述べる。

◎中島委員

処分対象者のとった行動の不備について意見を述べる。

◎教育長

原案について諮る。

◎全委員

原案可決の賛成に挙手する。

◎教育長

原案どおり可決する旨宣する。

それでは、非公開案件の審議が終了したので、会議を公開します。

(5) 閉会宣言 (午後 15 時 40 分)

◎教育長

それでは以上もちまして、8月定例の教育委員会会議を閉会いたします。